



グループメンバーと川見さん(右から2人目)

## 花で観光客らをお出迎え 環境美化と交流の場「ささえあいの庭」

グループさくら  
代表

川見祐枝さん(72歳)出石町川原



城下町出石の玄関口、ミニ辰鼓楼周辺の花壇管理、清掃活動を行っている川原ふれあいボランティア「グループさくら」の代表が川見祐枝さんです。平成12年から長きにわたり、四季折々の花を植栽し、市民や出石を訪れる観光客らの目を楽しませてくれていま

す。同グループの会員は38人。雨の日も風の日も、毎月1日と第2・4土曜日に花壇の手入れを行っています。特に夏季の水やりは欠かせません。また、花の植え替え時期には

会議で花の配置デザインを検討し、花には「元気に育つてね」などと声を掛け、愛情いっばいに植え込みます。グループの基本理念は「さそいあい」「ふれあい」「ささえあい」。この愛言葉のもと、地域の高齢者との交流も盛んに行っています。

川見さんは、活動が長く続く秘訣を「毎回作業の終わりに、お茶をしながらおしゃべりすることかな?」と笑います。

グループさくらは、これまでも、これからも、花壇を通して多くの人に笑顔を届けます。

# Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲除幕式

## 豊岡市商工会開所式 日高庁舎2階に移転

豊岡市商工会が市役所日高庁舎2階に移転し、4月1日に開所式が行われました。

来賓など約50人が参加した開所式は、新しい商工会看板と、同会女性部竹野支部が1カ月をかけて流木で作成した「なごみの灯り」の除幕式から始まりました。

式の中で同会会長の徳網 進さんは「商工会は現在約1,460会員を数える。五つの商工会が集まってちょうど10年の節目であり、新元号が公表される今日という記念すべき日に、新しい商工会の開所式を行うことができた。会員に寄り添った商工会として、一層の改革を進めていきたい」とあいさつしました。

## 城崎温泉 夜桜月間

### 新ライトアップがお披露目

3月25日から4月24日まで、城崎温泉街の木屋町通りで発光ダイオード(LED)を使った桜のライトアップが行われました。

昨年までは、住民有志がぼんぼりをつるして桜並木に彩りを添えていましたが、高齢化と、桜の木の老朽化により、ぼんぼりをつるすことが難しくなったため、別のライトアップの方法を模索していました。

新ライトアップは、川沿いの柱に設置したLED照明で下から照らし上げるスタイル。これまでと一味違った雰囲気、温泉街をそぞろ歩いていた観光客や花見客たちは、足を止め、カメラのシャッターを切っていました。



▲美しく照らし上げられた桜並木